



発行者
青森県立野辺地高等学校
父母と教師の会
調査広報委員会
野辺地町松ノ木106-1
TEL(64)-2266

印刷所
(有) 北陽印刷
TEL(64)-1523

【第105号】

「PTA活動について」



PTA会長 久保田 美穂子

日頃よりPTA活動にご理解とご協力を頂き、ありがとうございます。

猪の大量の出没により、安全面を考慮して、四十五回目となる予定だった烏帽子岳耐久登山が中止となりました。PTAも参加し、豚汁やペットボトル飲料の配付などを実施し、子供たちの活動の支援をする予定でしたので、とても残念でした。登校時挨拶運動を実施し、PTAの皆様と一緒に、子供たちと元氣よく挨拶を交わし合い、健やかな成長を見守りました。耐久登山に協力してくださる予定だった皆様、登校時挨拶運動に協力してくださった皆様には大変感謝しています。高P連の研修会では、他校のPTAの方々とお話でき、多くの学びを得ることができました。

あたたかい雰囲気です

も対応してくださる校長先生をはじめ、先生方には感謝しています。報告・協力し合って、子供たちの活動を引き続き応援していきたいと思っています。

「野高コンパス」



校長 小倉 民生

本校では、毎週「総合的な探究の時間」という授業が行われています。この授業は、探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の在り方や生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を育成すること目標にしています。自身が住む地域の課題を自ら考え、その原因や解決策等を主体的に導き出そうとするこの授業は、本校では「野高コンパス」と呼ばれ、生徒の成長を大いに促しています。

一学年では、「のへじ検定」

の受検や地域の名所探しを通して地域理解や自身の人生について考える人生探究を行い、二学年では、地域活性化のヒントを見出すために郷土料理を食す等の「ふるさと学習」を行ったり、職場体験を通して自らの職業観を具体化させたりする取組を行っています。

三学年では、三年間の集大成として、自ら考えた地域活性化策を練り上げます。

昨年十二月に行われた三年生による「地域課題研究発表会」には、外部から多くの方にお越しいただき、生徒の研究成果発表をご覧いただきました。一人一人が地域の抱える課題に向き合い、未来に向けた建設的な解決策をしっかりと述べている姿が印象に残りました。指導にあたられた先生方のアドバイス等を参考にしながら、自らの研究成果をしっかりとまとめ上げるのができた生徒それぞれの表情は、自信に満ち溢れていました。

「総合的な探究の時間」を始めとする三年間の学びを経て本校を巣立っていく卒業生の皆さんには、野辺地高校で得た学びをこれからの人生の「羅針盤」としてしっかりと生かしていただきたいと思います。皆さんの今後の活躍を大いに期待しています。

待っています。

最後になりますが、保護者の皆様には、今年度の本校教育活動に対し、多くのご支援をいただきましたことに、この場をお借りして心より感謝を申し上げます。ありがとうございます。

高校での三年間

三学年委員長 大西 美幸

高校入学当時はまだ新型コロナウイルスが2類だったため、学校行事やPTAの行事のほとんどが行われず、翌年の令和五年にインフルエンザと同じ5類に変わったのをきっかけに、文化祭では保護者や地域の方々の参加が認められ、中学では行くことができなかった念願の修学旅行へ行くことができました。子ども達はもちろん、保護者の方々も安堵したと思います。

これから進学就職と進む道は違いますが、野辺地高校で学んだ知識と経験をいかし、希望に満ちた明るい未来へと歩んでいくことと思います。そう思えるのも校長先生をはじめ教職員の皆様が、子ども達のためにご尽力くださったおかげだと感謝の気持ちでいっぱい입니다。三年間、本当にありがとうございました。

温かいご支援に感謝

三年一組担任 立崎 里奈子

お子様のご卒業おめでとうございます。保護者の皆様が日頃から多くの活動をあたたく見守り、支えてくださったおかげで、今日のよき日を迎えることができました。感謝申し上げます。縁あって昨年度からお世話になり、あつという間に二年が過ぎました。これまでの生徒の様子を振り返ると「思いやり」「粘り強さ」という言葉が思い浮かびます。体育祭などの選手決めはもとより、学年で行った文化祭模擬店の係分担を決める際、全員が納得するよう周りに配慮し、お互いに声をかけながら決めていました。そして当日、お客様を楽しませようと一致団結した仕事ぶりには感心しました。今年も多く行事が無事に開催されましたが、生徒たちは自由であることの大切さを理解し、真摯に取り組んでいたように思います。その中で彼らの笑顔を見ることができたのは本当に嬉しかったです。部活動や委員会活動では、最上級生としてリーダーシップを発揮し責任を持つ

てまとめていました。時に自分のこと以上に他者を思いやり、協力しながら進む生徒たちの姿に感動と安堵感を覚えたものです。

進路活動においての履歴書や志望理由書作成、面接練習では、初めはなかなかうまくいかず思い悩むも、完成に向けて諦めずに毎日粘り強く取り組んでいました。そのひたむきな姿勢は、教えるこちら側を奮い立たせ活力さえ与えてくれました。三年間の高校生活では、喜びもあれば辛いことや苦しいこともあったと思いますが、それらを乗り越えながら逞しく成長したと思います。



三年間の成長

三年一組担任 岩淵 晴彦

お子様のご卒業おめでとうございます。初めて担任として三年間を過ごさせていただきました。至らない点も多々あったと思いますが、保護者の皆さまの教育活動へのご理解ご協力のおかげで、無事に卒業式を迎えることができました。

生徒たちが入学してきてから三年間、あつという間に時間が過ぎていったと感じます。それは生徒の皆さんと過ごした時間が本当に充実していたからだと思います。特に一年生のときは私自身初めての担任だったということもあり、毎日が一瞬で過ぎていくような感覚でした。そんな中でも生徒たちはいち早く学校生活に慣れ、学校行事や部活動など、それぞれが持つ力を発揮して学校生活を充実させていました。二年生では高校生活の中で最も大きな行事の一つである修学旅行に行きました。自主研修は全て自分たちで調べ、計画し、行動しました。どの班も時間に遅れたり、大きなトラブルが起こったりすることなく、無事に旅程を終

えました。五日間の集団生活を通して、友人を思いやる気持ちや計画的に行動する力を養うことができたと思います。三年生になると、行事・委員会・部活動などで先頭に立って活動する場面が増え、たくましく成長した姿を見させてもらいました。進路活動では、自分の将来と真剣に向き合い、それぞれの進路を切り開きました。履歴書や志望理由書に苦戦し何度も書き直したり、慣れない面接練習・小論文対策に涙を流しながらも必死に食らいついたり、難しいことにも立ち向かう姿勢は立派でした。三年間、教師として指導してきたつもりですが、私自身が皆さんから多くのことを学び、共に成長させていただきました。皆さんのことを経験させてくれた生徒の皆さんには本当に感謝しています。

最後になりますが、この三年間、お子様と一緒に過ごせたこと、本当に幸せだったと感じています。卒業後、皆さんがさらに成長し、活躍できるよう、これからも応援し続けていきます。三年間ありがとうございました。

学校行事ドキュメンタリー



12/10-14 2 学年 修学旅行



12/10 1 学年 AED を使用した心肺蘇生法実技講習会



11/29 1 学年 野高コンパスガイドブック発表会

部活動結果報告

●硬式野球部

◇全国高校選手権青森県大会
2回戦進出
(八戸・十和田連合)

●男子ハンドボール部

◇県春季大会 2回戦進出
準優勝
◇県高校総体 1回戦敗退
◇東北大会 1回戦敗退
◇国民スポーツ大会 青森県予選会 準決勝進出 優勝

◇県秋季大会

◇東北選抜

2回戦進出 優勝

●スキー部

◇県高校総体

女子5kmフリー
優勝 乙部 海音
2位 熊谷 優羽



女子5kmクラシカル

優勝 乙部 海音
2位 熊谷 優羽

◇国民スポーツ大会

青森県予選会
少年女子5kmクラシカル

優勝 乙部 海音
2位 熊谷 優羽

◇青森県選手権

女子10kmフリー

3位 乙部 海音
6位 熊谷 優羽

◇東北大会

女子5kmクラシカル

3位 乙部 海音
12位 熊谷 優羽



女子5kmフリー

2位 乙部 海音
18位 熊谷 優羽

◇全国高等学校スキー大会

女子5kmクラシカル
7位 乙部 海音
42位 熊谷 優羽

女子5kmフリー
6位 乙部 海音
46位 熊谷 優羽

●書道部

◇第58回高野山競書大会
特別賞(南山賞)
大西 雪乃

◇第53回全国高校書道展
金賞 倉岡 桜愛
準特選 倉岡 桜愛

◇第29回全日本高校・大学
生書道展
準優秀作品 倉岡 桜愛
準優秀作品 柴田 琉奈
準優秀作品 大西 雪乃



◇第48回全国高等学校総合
文化祭書道部門
出品 大西 雪乃

◇第45回青森県高等学校総
合文化祭書道部門
優良賞 倉岡 桜愛

◇第29回全日本高等学校書
道コンクール
全日本高等学校書道
教育研究会賞 柴田 琉奈
優秀賞 倉岡 桜愛
優良賞 大西 雪乃

●演劇部

◇第45回青森県高等学校総
合文化祭
優秀賞



1/15 進路体験発表会



12/20 3学年 地域活性化探究発表会



12/10-14 2学年 修学旅行

合格・内定状況(延数)

国公立大学	1名合格
私立大学	6名合格
短期大学	1名合格
専門学校等	13名合格
県内就職	10名内定
県外就職	6名内定
(2月13日現在)	

三学年進路体験談

国公立大学

青森公立大学経営経済学部

地域みらい学科

三年二組 横濱 葵

私は、自分が住んでいる町から若者が出て行き活気がますます無くなっているこの現状を変えることができる役職員になりたいと考えていました。そんな時、地域に根づいている大学として青森公立大学を見つけました。

地域に対する私の思いを伝えるため、総合型選抜で挑みました。進路活動ではたくさんの方の先生方に提出書類の添削や小論文指導、面接指導をしていただきました。苦しくて辛いことばかりでしたが、そのおかげで自分自身を強くすることができました。

進路活動を通して、改めて努力は報われることを学びました。目標のために取

り組むことは苦勞も多いですが、粘り強く頑張った先には必ず明るい未来が待っていると確信しました。

入学後は、これまでの学校生活で学んだことを生かしつつ、地域について実践的に学び、地元に戻り活性化に貢献していきたいです。

民間就職

三沢奥入瀬観光開発星野リゾート
青森屋・奥入瀬溪流ホテル

三年一組 柴田 琉奈

私は、将来誰かを支える仕事に就きたいと考えていました。具体的な進路については、担当の先生と話し合い、ホテル関係の仕事を提案してもらいました。そこで、様々なホテルを調べたり企業説明会に参加したりしました。その中で興味をもったのが青森屋です。

青森屋は青森県の祭りや食べ物の魅力が様々な形で楽しむことができます。また、社員の方々の対応が良く、社員一人ひとりが楽しそうに仕事していたため私も青森屋で働きたいと強く思うようになりました。面接練習では先生方と何度も練習し、たくさんアドバイスをしてもらいました。そのため、試験には自信をもって臨み、ベストを尽く

することができました。

進路活動を通して、日々の積み重ねの大切さを実感しました。仕事やマナーを覚えることも一日では大変だと思えます。ですので、日々の積み重ねや努力を大切に、充実した将来にしたいと思っています。

民間就職

日本原燃株式会社

三年一組 湯澤 茉理

私はこれまで、学校生活、部活動など、様々な面で家族に支えられてきたので、自立して、自分にできることを自分でしようという気持ちが強くなりました。ほとんどの就職希望者は、「こういう仕事がしたい」という気持ちで就職先を選んだと思うのですが、私には「寮があるかどうか」という点が大事でした。

夏休みに原燃の合同見学会の他、六ヶ所げんねん企画を見学し、それぞれのようない仕事内容のかを実際に見たり体験したりして、最終的に日本原燃株式会社に決めました。

私は面接練習を本格的に始めたのは試験の二週間前です。原燃の知識が浅く、試験が不安でしたが、担当の先生がアドバイスをくだ

さり、試験の当日はそれを生かすことができました。

進路活動を通して、自分の考えや気持ちを親や先生にしっかりと伝え、妥協することなく本当に自分がやりたいことに挑戦することが大切だと思います。

民間就職

社会福祉法人吉幸会
特別養護老人ホーム野辺地ホーム

三年組 戸澤 葵

私が介護の仕事に興味を持ったのは高校二年生の時です。私の祖母が軽度の認知症になり、祖母を支えるためには介護の知識や技術が必要だと思ったことが始まりでした。

介護職を志望するにあたり少しでも資格を取っておいたほうが有利だと感じたので、介護の基礎知識を学べる、介護職員初任者研修の講習に約三ヶ月通い、資格を取得しました。

私が志望した野辺地ホームは就職試験が面接でしたので、面接の役に立つようにたくさんボランティア活動に参加しました。今思うとボランティア活動のおかげで介護職に必要な「思いやり」の心を身につけることができたと思います。また、先生方に面接練習を

お願いし、何度も練習をしました。

私は進路活動を通して挑戦する大切さを学びました。仕事に就いてからも挑戦することを止めず、一つのきっかけを逃さないように頑張ります。

創立100周年

野辺地高校
は、令和七年度
に創立100周年
を迎えます。

委員会毎に事業が進められており、令和七年十月十一日には記念式典が執り行われます。

編集後記

P T A 新聞発行にあたり、玉稿をお寄せくださった皆様、編集に協力していただいた皆様、ありがとうございます。

今回は卒業や進路に関する記事を載せたので、是非一読いただきたいと思っています。希望する記事などありましたら学校までお知らせください。

一年はあっという間に過ぎ、今年も卒業の時期を迎えました。卒業生並びに保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。

調査広報委員長 柴田美弥子